

# 平成20年度 事業報告書

学校法人 常葉学園

# 目 次

1 . 法人の概要	
( 1 ) 建学の精神 .....	1
( 2 ) 学校法人の沿革 .....	1
( 3 ) 設置する学校・学部・学科等 .....	4
( 4 ) 学校・学部・学科の学生生徒等数の状況 .....	5
( 5 ) 役員の概要 .....	6
( 6 ) 評議員の概要 .....	7
( 7 ) 教職員の概要 .....	8
2 . 事業の概要	
( 1 ) 事業の概要 .....	9
( 2 ) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況 .....	9
( 3 ) 施設等の状況 .....	1 3
( 4 ) その他 .....	1 4
3 . 財務の概要	
( 1 ) 財務の概要 .....	1 5
( 2 ) 資金収支計算書 .....	1 6
( 3 ) 消費収支計算書 .....	1 7
( 4 ) 貸借対照表 .....	1 8
( 5 ) 主な財務比率比較 .....	1 9
( 6 ) 借入金の状況 .....	1 9
( 7 ) 寄付金の状況 .....	1 9
( 8 ) 補助金の状況 .....	1 9

# 1. 法人の概要

## (1) 建学の精神

本法人の建学の精神は、次に掲げるとおりです。

### 建学の精神

常葉学園は、学問の研究と人間の育成に限りない情熱を傾けられた日本史学の泰斗木宮泰彦先生によって、昭和二十一年に創立された。「戦後の混沌とした日本を再び立ち上がらしめ、光輝ある平和な文化国家を建設するためには、先ず教育の力にまたなければならない。」とのゆるぎない信念のもとに、敢えて困難をも顧みず常葉学園の創立にあたられたのである。この教育の力に対する創立者の信頼と確信こそは、本学園の建学の精神の根本である。

創立者木宮泰彦先生は「万葉集」に見える聖武天皇の御製

橘は 実さへ 花さへ その葉さへ  
枝に霜ふれど いや常葉の樹

に因んで学園を「常葉」と名づけ、その理想の姿を橘の瑞木に託された。霜雪に耐えてつねに青々とした葉を繁らせ、純白で香り高い花を咲かせ、豊かな黄金の実を結ぶ橘こそは、常葉学園の教育理念の象徴である。即ち、本学園の理想とする人間像は、美しい心情をもって、国家・社会・隣人を愛し、堅固な意志と健康な身体をもっていかなる苦難にもうち克ち、より高きを目指して学び続ける人間である。

百丈禅師のことは「一日作さざれば一日食はず」を自戒として、日々研鑽を積まれた学園創立者木宮泰彦先生の生涯は、まさにこの建学の精神の具現であった。先生は順境に奢らず、逆境にめげず、常によりよき自己の実現のために、生涯にわたって真摯な努力を続けられた。この創立者の精神こそ常葉学園にかかわるすべてのものの心である。

## (2) 学校法人の沿革

昭和21年	6月	静岡女子高等学院創立
昭和22年	11月	静岡女子高等学院設置認可
昭和23年	2月	財団法人常葉学園設置認可
	4月	常葉中学校開校
昭和25年	12月	財団法人から学校法人へ組織変更認可
昭和26年	8月	静岡女子高等学院を高等学校として設置認可
	10月	静岡女子高等学院を常葉高等学校に名称変更認可
昭和27年	4月	常葉高等学校（普通科）開校
昭和28年	7月	各種学校たる静岡高等女子学院廃止認可
昭和38年	4月	橘高等学校開校
昭和40年	4月	橘中学校開校
昭和41年	4月	常葉女子短期大学（国文科、保育科）開学 常葉女子短期大学附属とは幼稚園開園
昭和43年	4月	常葉女子短期大学に音楽科設置
昭和45年	4月	常葉女子短期大学に専攻科（保育専攻、音楽専攻）設置 常葉女子短期大学附属たちばな幼稚園開園
昭和46年	4月	橘高等学校に音楽科設置
昭和47年	4月	常葉女子短期大学に英文科、美術・デザイン科設置 常葉短大附属菊川高校（普通科、美術・デザイン科）開校
昭和53年	4月	常葉学園橘小学校開校 学園内各校（園）の名称変更

常葉女子短期大学 常葉学園短期大学  
 常葉女子短期大学附属とは幼稚園 常葉学園短期大学附属とは幼稚園  
 常葉女子短期大学附属たちばな幼稚園 常葉学園短期大学附属たちばな幼稚園  
 常葉高等学校 常葉学園高等学校  
 常葉中学校 常葉学園中学校  
 橘高等学校 常葉学園橘高等学校  
 橘中学校 常葉学園橘中学校  
 常葉短大附属菊川高校 常葉学園菊川高等学校

昭和55年	4月	常葉学園大学(教育学部初等教育課程)開学
昭和56年	4月	常葉学園橘小学校を常葉学園大学教育学部附属橘小学校に名称変更
昭和58年	4月	常葉学園橘高等学校に英数科設置
昭和59年	4月	常葉学園大学に外国語学部(英米語学科、スペイン語学科)設置
昭和63年	4月	常葉学園浜松大学(経営情報学部経営情報学科)開学
平成2年	4月	常葉学園富士短期大学(商学科、国際教養科)開学
平成5年	4月	常葉学園短期大学専攻科(保育専攻、音楽専攻)が学位授与機構から認定専攻科の認定を受ける
平成6年	4月	常葉学園浜松大学に国際経済学部(国際経済学科)設置 常葉学園短期大学専攻科(美術・デザイン専攻)〔学位授与機構認定専攻科〕設置
平成7年	4月	常葉学園短期大学国文科を国語国文科に英文科を英語英文科に名称変更するとともに専攻科国語国文専攻〔学位授与機構認定専攻科〕及び留学生別科設置 学校法人浜松常葉学園が発足し、常葉情報専門学校開校
平成8年	4月	常葉学園大学大学院国際言語文化研究科(国際教育専攻、英米言語文化専攻)設置 常葉学園浜松大学大学院経営学研究科(経営学専攻)設置 常葉学園医療専門学校(理学療法学科、作業療法学科)開校 常葉情報専門学校を常葉環境情報専門学校に名称変更
平成10年	4月	常葉学園大学教育学部に生涯学習学科設置 常葉学園浜松大学を浜松大学に名称変更
平成12年	4月	富士常葉大学(流通経済学部流通経済学科、環境防災学部環境防災学科)開学
平成13年	4月	浜松大学経営情報学部情報ネットワーク学科設置 常葉学園短期大学国語国文科を日本語日本文学科と名称変更
	10月	常葉学園富士短期大学廃止認可
平成14年	4月	常葉学園大学に造形学部(造形学科)設置
平成15年	4月	常葉学園菊川中学開校 常葉学園短期大学留学生別科廃止
平成16年	3月	常葉学園短期大学美術・デザイン科及び専攻科(美術・デザイン専攻)廃止
	4月	常葉学園大学教育学部に心理教育学科、外国語学部グローバルコミュニケーション学科設置
平成17年	4月	浜松大学に健康プロデュース学部(健康栄養学科、こども健康学科、心身

		マネジメント学科)及び留学生別科設置
		常葉学園医療専門学校に鍼灸学科、柔道整復学科設置
		常葉学園静岡リハビリテーション専門学校(理学療法学科)開校
平成18年	4月	富士常葉大学に大学院環境防災研究科、保育学部(保育学科)、留学生別科を 設置するとともに流通経済学部(流通経済学科)を総合経営学部(総合 経営学科)に名称変更
平成19年	4月	常葉学園大学大学院に初等教育実践研究科(初等教育高度実践専攻)設置 浜松大学にビジネスデザイン学部(経営情報学科、サービスと経営学科) 設置
平成20年	4月	学校法人常葉学園が学校法人浜松常葉学園を吸収合併
	7月	常葉学園大学外国語学部スペイン語学科廃止届出
	9月	常葉環境情報専門学校廃止認可

## (3)設置する学校・学部・学科等

(平成20年5月1日現在)

学校名	開校年月	研究科・学部・課程等	専攻・学科・科	摘要
常葉学園大学	昭和55年4月	教育学部	初等教育課程	
			生涯学習学科	
			心理教育学科	
		外国語学部	英米語学科	
スペイン語学科	1			
		造形学部	造形学科	
常葉学園大学大学院	平成8年4月	国際言語文化研究科	英米言語文化専攻	
		国際教育専攻		
		初等教育高度実践研究科	初等教育高度実践専攻	
浜松大学	昭和63年4月	経営情報学部	経営情報学科	2
			情報ネットワーク学科	3
		国際経済学部	国際経済学科	4
			健康栄養学科	
		健康プロデュース学部	こども健康学科	
			心身マネジメント学科	
ビジネスデザイン学部	経営情報学科			
	サービスと経営学科			
浜松大学大学院	平成8年4月		留学生別科	
富士常葉大学	平成12年4月	経営学研究科	経営学専攻	
		総合経営学部	総合経営学科	
		環境防災学部	環境防災学科	
		保育学部	保育学科	
富士常葉大学大学院	平成18年4月	環境防災研究科	環境防災専攻	
常葉学園短期大学	昭和41年4月		日本語日本文学科	
			英語英文科	
			保育科	
			音楽科	
常葉学園医療専門学校	平成8年4月	医療専門課程	国語国文専攻	
			保育専攻	
			音楽専攻	
常葉学園医療専門学校	平成8年4月	医療専門課程	理学療法学科	5
			作業療法学科	6
			鍼灸学科	
			柔道整復学科	
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校	平成17年4月	医療専門課程	理学療法学科	
常葉環境情報専門学校	平成7年4月	専門課程(工業)	環境・情報システム科	7
		環境・情報システム研究科		
常葉学園高等学校	昭和27年4月	全日制課程	普通科	
			家庭科	
常葉学園橘高等学校	昭和38年4月	全日制課程	英数科	
			普通科	
			音楽科	
常葉学園菊川高等学校	昭和47年4月	全日制課程	普通科	
			美術・デザイン科	
常葉学園中学校	昭和23年4月			
常葉学園橘中学校	昭和40年4月			
常葉学園菊川中学校	平成15年4月			
常葉学園大学教育学部附属橘小学校	昭和53年4月			
常葉学園短期大学附属とこは幼稚園	昭和41年4月			
常葉学園短期大学附属たちばな幼稚園	昭和45年4月			

- 1 平成16年度から学生募集を停止し、平成20年度をもって廃止  
2.3.4 平成19年度から学生募集を停止し、平成22年度をもって廃止予定  
5.6 平成20年度から学生募集を停止し、平成23年度をもって廃止予定  
7 平成18年度から学生募集を停止し、平成20年度をもって廃止

## (4)学校・学部・学科等の学生生徒等数の状況

(平成20年5月1日現在)

学校名	研究科・学部・課程等名	専攻・学科・科名	入学定員数	収容定員数	現員数
常葉学園大学	教育学部	初等教育課程	110	410	502
		生涯学習学科	50	230	270
		心理教育学科	60	260	282
	外国語学部	英米語学科	110	470	491
		スペイン語学科 <sup>1</sup>	-	-	-
	造形学部	グローバルコミュニケーション学科	70	310	260
常葉学園大学大学院	国際言語文化研究科	造形学科	80	330	271
		英米言語文化専攻	10	25	3
	国際教育専攻	10	25	10	
	初等教育高度実践研究科	初等教育高度実践専攻	20	20	18
浜松大学	経営情報学部	経営情報学科 <sup>2</sup>	-	-	387
		情報ネットワーク学科 <sup>3</sup>	-	-	53
	国際経済学部	国際経済学科 <sup>4</sup>	-	-	152
	健康プロデュース学部	健康栄養学科	80	340	312
		こども健康学科	60	280	194
		心身マネジメント学科	110	410	441
	ビジネスデザイン学部	経営情報学科	150	320	226
サービスと経営学科		150	310	234	
	留学生別科	40	40	36	
浜松大学大学院	経営学研究科	経営学専攻	15	30	40
富士常葉大学	総合経営学部	総合経営学科	160	705	695
	環境防災学部	環境防災学科	150	635	481
	保育学部	保育学科	80	245	272
		留学生別科	30	30	22
富士常葉大学大学院	環境防災研究科	環境防災専攻	10	20	8
常葉学園短期大学		日本語日本文学科	80	160	107
		英語英文科	80	160	143
		保育科	200	400	425
		音楽科	55	110	95
	専攻科	国語国文専攻	20	40	13
		保育専攻	20	40	32
		音楽専攻	20	40	39
		理学療法学科 <sup>5</sup>	-	-	151
常葉学園医療専門学校	医療専門課程	作業療法学科 <sup>6</sup>	-	-	124
		鍼灸学科	60	180	73
		柔道整復学科	60	180	89
		理学療法学科	80	320	287
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校	医療専門課程	理学療法学科	80	320	287
常葉環境情報専門学校 <sup>7</sup>	専門課程(工業)	環境・情報システム科	-	-	-
		環境・情報システム研究科	-	-	-
常葉学園高等学校	全日制課程	普通科	240	720	586
常葉学園橘高等学校	全日制課程	家庭科			
		英数科	80	240	119
		普通科	420	1,260	806
常葉学園菊川高等学校	全日制課程	音楽科	40	120	40
		普通科	315	945	979
常葉学園中学校		美術・デザイン科	60	180	159
		普通科	80	240	140
常葉学園橘中学校			90	210	199
常葉学園菊川中学校			60	160	169
常葉学園大学教育学部附属橘小学校			60	360	376
常葉学園短期大学附属とこは幼稚園				240	257
常葉学園短期大学附属たちばな幼稚園				230	243

- 1 平成16年度から学生募集を停止し、平成20年度をもって廃止  
2.3.4 平成19年度から学生募集を停止し、平成22年度をもって廃止予定  
5.6 平成20年度から学生募集を停止し、平成23年度をもって廃止予定  
7 平成18年度から学生募集を停止し、平成20年度をもって廃止

## (5) 役員の概要

(平成20年6月1日現在)

理事定数(10人以上13人以内) 監事定数(2人以上5人以内)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	木宮 健二	常 勤	平成14年4月 理事就任 平成14年4月 理事長就任 平成19年4月 富士常葉大学学長就任
副理事長	海野 晴男	常 勤	平成11年4月 理事就任 平成14年4月 常務理事就任 平成14年4月 副理事長就任
常務理事	三浦 均	常 勤	平成17年4月 理事就任 平成17年4月 常務理事就任
理 事	海野 泰男	常 勤	昭和62年4月 理事就任(昭和63年3月迄) 平成14年4月 常葉学園大学学長就任 平成14年4月 理事就任
理 事	木宮 一邦	常 勤	平成 9年4月 理事就任(平成11年3月迄) 平成 9年4月 副理事長就任(平成11年3月迄) 平成14年4月 浜松大学学長就任 平成14年4月 理事就任
理 事	山本 伸晴	常 勤	平成18年4月 常葉学園短期大学学長就任 平成18年4月 理事就任
理 事	清水 文子	常 勤	平成16年4月 常葉学園中・高等学校校長就任 平成20年5月 理事就任(新任)
理 事	小長井 淳吉	常 勤	平成17年4月 常葉学園静岡リハビリテーション専門 学校校長就任 平成17年4月 理事就任
理 事	齊藤 斗志二	非常勤	昭和63年3月 理事就任(衆議院議員)
理 事	山内 啓司	非常勤	平成13年5月 理事就任(スズキ株式会社顧問)
理 事	中村 隆行	非常勤	平成13年5月 理事就任(株式会社ミホミ代表取締役)
理 事	木宮 岳志	常 勤	平成19年5月 理事就任
監 事	加藤 正秀	非常勤	昭和62年10月 理事就任 平成14年 4月 監事就任(学校法人加藤学園理事長)
監 事	高木 伯一	非常勤	昭和50年10月 理事就任 昭和60年 3月 監事就任(花の舞酒造株式会社相談役)
監 事	石橋 一郎	非常勤	平成 6年4月 理事就任 平成 6年4月 常務理事就任 平成 9年4月 監事就任
監 事	堀 敬史	非常勤	平成19年5月 監事就任(学校法人享栄学園理事長)

## (6) 評議員の概要

(平成21年3月31日現在)

評議員定数(39人以上51人以内)

氏名	在任年月	主な現職等
海野 泰男	34年11か月	常葉学園大学 学長
木宮 一邦	18年	浜松大学 学長
山本 伸晴	3年	常葉学園短期大学 学長
紫藤 徹郎	4年	常葉学園医療専門学校 校長
小長井 淳吉	4年	常葉学園静岡リハビリテーション専門学校 校長
清水 文子	5年	常葉学園中・高等学校 校長
吉村 耕司	4年	常葉学園橘中・高等学校 校長
大石 富之	1年	常葉学園菊川中・高等学校 校長
小林 成樹	4年	常葉学園大学教育学部附属橘小学校 校長
大堀 昌子	3年	常葉学園短期大学附属とこは幼稚園 園長
戸藤 篤子	3年	常葉学園短期大学附属たちばな幼稚園 園長
三浦 均	4年	常葉学園 企画監
狩野 義之	6年	常葉学園 審査監
鈴木 薫	1年	常葉学園大学 副学長 外国語学部長
角替 弘志	8年	常葉学園大学 副学長 大学院研究科長
中村 正義	10年	浜松大学 副学長 国際経済学部長
小島 克之	4年	浜松大学 経営情報学部長 大学院研究科長
稲葉 光彦	3年	富士常葉大学 副学長 保育学部長
村上 篤司	1年	富士常葉大学 環境防災学部長 大学院研究科長 学生部長
尾崎 富義	3年	常葉学園短期大学 副学長
勝俣 元雅	24年	常葉学園大学 第1回卒 静岡市立小学校教頭
中澤 康徳	2年	常葉学園浜松大学 第1回卒 会社職員
小倉 岳彦	9年	常葉学園富士短期大学 第1回卒 会社員
望月 美子	30年11か月	常葉学園短期大学 第3回卒
小澤 美佐子	8年	常葉学園高校 第13回卒
溝口 由美子	38年10か月	常葉学園高校 第6回卒 元常葉学園菊川高校 事務長
町田 益己	30年11か月	常葉学園橘高校 第7回卒 静岡県
伊藤 元久	9年	常葉学園菊川高校 第6回卒 現同窓会会長 会社員
村上 信也	4年	常葉学園橘高校 第7回卒 会社役員
重田 和夫	2年	常葉学園大学 後援会OB会会長 会社役員
神戸 己代治	2年	浜松大学 後援会会長 会社役員
三澤 賢治	4年	富士常葉大学 後援会OB会会長 会社役員
稲熊 良一	8年	常葉学園短期大学 後援会OB会会長
軒山 勝蔵	8年	常葉学園高校 PTA顧問 会社員
山本 博章	8年	元橘高校PTA副会長 会社役員
大橋 隆夫	2年	常葉学園菊川高校 OB後援会理事
望月 春雄	2年	常葉会会長 会社役員
木宮 岳志	1年11か月	常葉学園 人事監 橘高校PTA
木宮 和彦	58年 4か月	常葉学園 学園長
木宮 健二	7年 1か月	常葉学園 理事長
海野 晴男	19年	常葉学園 副理事長
木宮 満彦	7年11か月	元常葉学園富士短期大学教授
齋藤 安彦	8年	弁護士
山本 陽一	19年	常葉学園 名誉理事
山田 誠	4年	静岡県議会議員
永井 衛	4年	元静岡大学学長

## (7)教職員の概要

(平成20年5月1日現在 (単位:人))

		常葉学園本部	常葉学園大学	浜松大学	富士常葉大学	常葉短期大学	常葉高等学校	常葉中学校
教員	本務		93	110	63	43	29	9
	兼務		158	165	108	133	15	8
職員	本務	52	28	25	30	19	4	1
	兼務	24	12	15	18	9	1	

		橘高等学校	橘中学校	菊川高等学校	菊川中学校	橘小学校	とこは幼	たちばな幼
教員	本務	50	12	56	11	27	10	8
	兼務	33	8	38	7	17	4	6
職員	本務	7	1	6	1	2	1	1
	兼務			3		2		

		医療専	静岡リハ専	常葉リハ病院	総合計
教員	本務	26	9		556
	兼務	81	32	12	825
職員	本務	6	4	49	237
	兼務	2	1	11	98

(注) 本務者の平均年齢は、教員48.8歳 職員は43.3歳である。

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の概要

教育を取り巻く環境は、初等中等教育においては、学習指導要領の改訂に伴う授業時間や学習量の増加、学校評価や教員免許更新制の実施等、大幅な改革が進められつつある一方、高等教育においても社会貢献の一層の推進、FDの推進による大学教員の質の向上、学士教育の質の保証等が厳しく要求されるなど、学校の設置者に対して、社会はこれまでより以上に良質な教育を提供するよう強く求めています。

本法人においては、こうした社会情勢を踏まえ、建学の精神を教職員共通の基盤として堅持しつつ、財政の健全化を考慮しながら、学生等の募集・確保を第一に据えて、教育内容のレベルアップ、教育施設の充実、教職員研修等を通じた人材の育成、さらには事務システムの改善・改革を図り、静岡県に所在する唯一の総合教育機関として、社会からの期待に応えるよう各種事業を推進いたしました。

### (2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

#### 組織の充実・強化

まず、諸規程の整備については、大学教育職員の勤務の特殊性に考慮しつつ大学の教育力を高めるため、大学教育職員の勤務に関する基準を改正し、学内勤務日の勤務時間に関する規定を新設しました。また、大学教育職員の評価基準と評価の実際との齟齬を解消し、より実効性のある職務評価を実現するために、大学教育職員の職務評価実施要領を改正しました。さらに、規程と実際との齟齬を解消し厳しい経営環境に耐えうる組織を構築するため、組織規程を改正して、各職名の職務内容を明確化するとともに、法人本部の事務組織において政策スタッフ、基本ライン及び監査部門という役割分担に基づく事務分掌にしました。また、学校教育法の一部改正に伴い、大学を除く組織について新たな職名を加えました。

次に、研修制度の充実・強化ですが、新任教職員研修会、教職員夏期研修会、管理職研修会等に加えて、新たに採用から5年ないし10年までの教職員を対象とする「基本研修」及び毎年6月と11月に全教職員を対象とする「授業力・事務力向上強化月間」を実施しました。基本研修では単に基本的知識やスキルの習得に止まらず、常葉学園の教職員としての使命感や責任感を涵養するため、法人本部の管理職が自ら講師を務めました。また、授業力・事務力向上強化月間では常葉学園のスケールメリットを生かすため、学校間のバリアをできる限り排除するとともに、教職員間の人的交流が進むように配慮しました。

最後に、時代に対応した人事給与・会計システムを再構築すべく、現在の大型コンピュータシステムから新しいサーバーシステムへ移行するための審議やデモ等の検討作業をほぼ終了しました。今後は平成22年1月からの移行を目指して、データ移行確認作業や操作教育支援等を行う予定です。

#### 財政の健全化

学校法人を取り巻く経営環境が、少子化の進展などにより年々厳しさを増している中、将来に亘り教育環境を整備し優秀な人材を確保するためには、財政基盤の安定・強化が一層重要であります。学校法人の主要財源は、学生生徒納付金や国・地方公共団体からの補助金収入が帰属収入の9割近くを占めております。更なる少子化による納付金の減収や公的機関の財政逼迫、選別化・重点化に向けた施策の転換による補助金の減少が予測された中で、本法人におきましては、各大学が特色ある教育・研究活動の実践に積極的に取り組んだ結果、私立大学経常費補助金（特別補助）が対前年度比31百万円の増となりました。科学研究経費補助金等の競争的外部資金の積極的な導入につきましても各大学が努力しております。

また、学校法人が発展する資金的裏づけとなる健全な財政状態を維持するために、コスト意

識を高め、支出削減・抑制に向けて聖域を作らず、果敢に見直しを図った結果、管理経費においては対前年度比18百万円支出を削減することができました。

さらに、私立学校法で義務づけられており、中央教育審議会や政府の総合規制改革会議などからも社会からの信頼や支持を得るために積極的に提供するように求められております財務情報や大学の情報の公開につきましては、本法人では平成17年度に財務書類の閲覧に関する取扱要項を制定し、財務情報の円滑な公開に努めているほか、法人のホームページ上に情報公開の項目を設け、事業報告書（法人の概要、事業の概要、財務の概要）や公的研究費補助金取扱規程等を掲載しているほか、各校においてもホームページ等を積極的に活用して、学校の様々な情報を広く社会に提供するように努めております。

#### 教育事業

特色ある教育事業を展開するため、学部・学科の改組及び定員等の見直し、教育課程の改正等を実施いたしました。各校の主要事業の展開状況は以下のとおりです。

##### ）大学・短期大学・専門学校

- ・ 常葉学園大学は、生涯学習分野の指導者養成に対する社会からの要請に対応するため、外国語学部英米語学科の入学定員のうち10名を教育学部生涯学習学科の入学定員に振り替えるとともに、特色ある教育の実効性をより高めることを目的として、教育課程の一部を変更しました。
- ・ 常葉学園大学は、入試広報活動の強化、コミュニケーション入試（外国語学部）・アクセス入試（造形学部）の導入など、入試改革を推進した結果、前年度を上回る志願者増に結びつけることができました。
- ・ 常葉学園大学大学院は、人材の養成に関する目的等を明確にするとともに小学校学習指導要領の改訂に対応し、かつ履修の弾力化を図ることによって特色ある教育の実効性をより高めることを目的として、教育課程の一部を変更しました。
- ・ 浜松大学は、常葉学園医療専門学校の理学療法学科及び作業療法学科を発展改組して、保健医療学部（理学療法学科・作業療法学科）として設置するため、同学部の設置認可を文部科学大臣に申請し、平成20年10月31日に認可を得ました。（平成21年4月1日設置）
- ・ 浜松大学は、大学院に健康科学研究科（健康栄養科学専攻・臨床心理学専攻）を設置するため、文部科学大臣に設置認可を申請し、平成20年10月31日に認可を得ました。（平成21年4月1日設置）
- ・ 富士常葉大学は、特色ある教育の実効性をより高めるため、富士常葉大学大学院は環境分野における専門教育の充実を図るため、教育課程の一部を変更しました。
- ・ 常葉学園短期大学は、特色ある教育の実効性をより高めるため、教育課程の一部を変更しました。
- ・ 常葉学園医療専門学校、常葉学園静岡リハビリテーション専門学校は、継続的に教育指導法の工夫と改善を実施し、国家試験の合格率の向上に努めました。
- ・ 各校における入試状況につきましては、志願者の減少や入学定員割れを起こしている部門もあり、正確に原因を分析したうえで、その反省に立ったよりきめ細かな募集活動を展開してまいります。一方、就職状況につきましては、世界同時不況による厳しい雇用環境下にもありながらも、学生個々の努力と就職担当部門の支援活動が相乗効果をあげ、各校ともに良好な結果を残すことができました。〈別表1〉

<別表1>

平成20年度における入試状況及び就職状況

(平成21年5月1日現在)

学校名	学部学科名	入学定員(人)	入学者数(人)	就職内定率(%)
常葉学園大学	教育学部			
	初等教育課程	110	132	100.0
	生涯学習学科	60	66	96.9
	心理教育学科	60	69	97.1
	外国語学部			
	英米語学科	100	129	94.3
	グローバルコミュニケーション学科	70	55	95.2
常葉学園大学	造形学部			
	造形学科	80	90	76.1
浜松大学	ビジネスデザイン学部			
	経営情報学科	150	92	
	サービスと経営学科	150	122	
	健康プロデュース学部			
	健康栄養学科	80	57	98.6
	こども健康学科	60	26	100.0
	心身マネジメント学科	110	87	96.9
	保健医療学部			
	理学療法学科	40	43	
	作業療法学科	40	21	
	経営情報学部			
	経営情報学科			90.8
	情報ネットワーク学科			89.5
	国際経済学部			
国際経済学科			97.0	
富士常葉大学	総合経営学部			
	総合経営学科	160	162	90.6
	環境防災学部			
	環境防災学科	150	90	92.5
富士常葉大学	保育学部			
	保育学科	80	89	
常葉学園短期大学	日本語日本文学科	80	69	70.3
	英語英文科	80	61	88.9
	保育科	200	219	99.0
	音楽科	55	54	86.4
常葉学園 医療専門学校	理学療法学科			100.0
	作業療法学科			97.0
	鍼灸学科	60	14	76.0
	柔道整復学科	60	19	59.0
常葉学園静岡 リハビリテーション 専門学校	理学療法学科	80	49	96.6

大学院、専攻科、留学生別科、編入学、高校以下を除く

) 高等学校・中学校・小学校・幼稚園

- ・ 常葉学園高校、常葉学園橘高校、常葉学園菊川高校、常葉学園中学校、常葉学園橘中学校、常葉学園菊川中学校、常葉学園大学教育学部附属橘小学校、常葉学園短期大学附属とこは幼稚園は、学校教育法及び常葉学園組織規程の改正（各高校・中学校には副校長、主幹教諭、指導教諭を、小学校には副校長を、幼稚園には副園長をおくことができるとしたこと）に伴い、学則の一部を変更しました。
- ・ 常葉学園高校、常葉学園橘高校、常葉学園菊川高校、常葉学園中学校、常葉学園大学教育学部附属橘小学校は、特色ある教育の実効性をより高めるため、学則の一部を変更しました。
- ・ 課外活動においては、常葉学園高校のバスケットボール部・新体操部、常葉学園橘中学の男女サッカー部、常葉学園橘高校の男女サッカー部、常葉学園菊川高校の女子ソフトボール部、空手道部、剣道部が全国大会への出場を果たしました。とりわけ、常葉学園菊川高校の野球部は、4季連続して甲子園大会への出場を果たし、決勝では惜しくも敗れたものの見事準優勝に輝き、学園関係者並びに静岡県民はもとより全国の高校野球ファンに感動を与えてくれました。
- ・ 常葉学園大学教育学部附属橘小学校では、ネイティブ教員による充実した英語教育が着実に成果をあげております。また、同校の大きな特色のひとつである音楽教育関係ではオーケストラレッスン室(わくわくホール)を整備し、ハード面の一層の充実を図りました。
- ・ 常葉学園短期大学附属の両幼稚園は、ホームページの充実、未就園児教室の実施、3才児入園の積極的な受け入れ等の諸事業を円滑に実施しました。

) 豊田順介奨学基金

幼稚園から高等学校までの教育振興のために寄附いただいた「豊田順介奨学基金」の活用状況は、次のとおりです。

幼稚園	0件	0千円
小学校	3件	586千円
中・高等学校	64件	8,850千円
計	67件	9,436千円

教育環境の整備・充実

より充実した教育の実現を図るためには、学生・生徒等の学習ニーズの多様化や学校を取り巻く社会状況の変化に対応した施設の整備が重要であり、学習環境を向上するための整備を図りました。また、経年による劣化で耐震上問題のある校舎のうち、土地の確保等条件が整ったものについては新築・移転の具体策を検討するとともに、他の校舎についても中長期の整備計画の策定を進めております。計画に基づき実施した主要事業は、次のとおりです。

- ・ 常葉学園大学 ... 本館2階各研究室・事務室エアコン取替工事
- ・ 浜松大学 ... 保健医療学部及び大学院健康科学研究科設置に伴う改修工事
- ・ 富士常葉大学 ... 1301教室他エアコン取替工事
- ・ 常葉学園短期大学 ... 1号館給水管更新工事
- ・ 常葉学園中・高校 ... 新校舎整備計画に伴う校地(隣接用地)取得 [ 取得面積 206㎡ ]
- ・ 常葉学園橘中・高校 ... 本館等塗装工事
- ・ 常葉学園菊川中・高校 ... 本館屋上・外壁等改修工事
- ・ 常葉学園大学教育学部附属橘小学校 ... オーケストラレッスン室新築工事 [ 建築面積 295㎡ ]
- ・ 常葉学園短期大学附属とこは幼稚園 ... 旧園舎解体工事
- ・ 常葉学園短期大学附属たちばな幼稚園 ... 新園舎建設用地取得 [ 取得面積 964㎡ ]

### (3) 施設等の状況

#### ① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりです。

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	
常葉学園大学 静岡市	校地	52,559㎡	1,222,108千円	本館、1号館、2号館、 3号館、サテライトビル
	校舎等 6棟	30,195㎡	3,182,330千円	
川根本町	寄宿舎 1棟	639㎡	85,926千円	川根実習施設
浜松市	校地	2,564㎡	271,427千円	三ヶ日セミナーハウス
	寄宿舎 1棟	733㎡	122,364千円	
菊川市	校地	11,524㎡	160,665千円	
	校舎 3棟	9,225㎡	694,121千円	
浜松大学 浜松市	校地	183,187㎡	2,671,711千円	本館、1号館、2号館、 3号館、5号館、 トコハホール
	校舎等 13棟	31,572㎡	4,985,755千円	
富士常葉大学 富士市	校地	88,552㎡	1,942,056千円	1号館、2号館、3号館
	校舎等 6棟	20,617㎡	2,754,844千円	
常葉学園短期大学 静岡市	校地	42,892㎡	1,582,814千円	本館、2号館、3号館、 4号館、5号館、6号館、 7号館、8号館、T号館
	校舎等 11棟	15,149㎡	1,204,409千円	
常葉学園中・高等学校 静岡市	校地	42,903㎡	2,368,605千円	本館、北館、東館、 南館、図書館、 常葉会館
	校舎等 8棟	10,506㎡	165,625千円	
常葉橘中・高等学校 静岡市	校地	48,231㎡	470,217千円	本館、音楽棟、美術棟、 新館、和敬庵 尚志館、行之館
	校舎等 9棟	16,999㎡	771,784千円	
常葉菊川中・高等学校 菊川市	校地	73,920㎡	751,815千円	本館、東館、北館、 南館、新館、光葉館、 美術棟
	校舎等 9棟	13,917㎡	951,837千円	
常葉学園橘小学校 静岡市	校地	13,806㎡	855,666千円	本館、オーケストラレッ スン室
	校舎 2棟	5,503㎡	289,531千円	
とこは幼稚園 静岡市	園地	4,729㎡	213,475千円	
	園舎 1棟	1,361㎡	278,605千円	
たちばな幼稚園 静岡市	園地	2,654㎡	149,077千円	
	園舎 3棟	1,366㎡	38,129千円	

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	
医療専門学校 浜松市	校地	22,412㎡	191,018千円	1号館、2号館
	校舎 2棟	8,406㎡	1,004,897千円	
静岡リハビリテーション専門学校 静岡市	校地	1,033㎡	1,000,036千円	
	校舎 1棟	3,181㎡	475,638千円	
環境情報専門学校 浜松市	校舎	1,253㎡	127,541千円	
リハビリテーション病院 浜松市	土地	5,255㎡	135,548千円	
	病院 1棟	6,132㎡	76,496千円	
学園本部 静岡市	寄宿舍 等 5棟	7,220㎡	441,183千円	学生寮、研修センター、 迎賓館、職員寮、 スイミング
	土地	4,546㎡	429,854千円	
伊豆の国市	土地	334㎡	17,000千円	現在使用していない。
浜松市	土地	59,182㎡	503,938千円	
長野県下高井郡	寄宿舍 1棟	936㎡	1,109千円	宿泊施設。
合計(平成21年3月31日現在)		845,192㎡	32,589,151千円	

② 主な施設設備の取得又は処分の状況

平成20年度の主な施設の増減は次のとおりです。

ア) 校地取得

- ・常葉学園中・高等学校 校地取得

取壊面積： 206 ㎡ 取得金額： 105,830 千円

- ・たちばな幼稚園 園地取得

取壊面積： 964 ㎡ 取得金額： 131,166 千円

イ) 校舎設備等

- ・橘小学校 オーケストラレッスン室新築

取壊面積： 295 ㎡ 取得金額： 54,708 千円

- ・とこは幼稚園 旧園舎解体

取壊面積： 1,083 ㎡

(4) その他

理事会・評議員会の開催状況

- 第1回 平成20年 5月17日(土)
- 第2回 平成20年10月18日(土)
- 第3回 平成21年 3月20日(金・春分の日)

監事監査の実施状況

- 第1回 平成20年 5月12日(月)～13日(火)
- 第2回 平成20年12月11日(木)
- 第3回 平成21年 3月16日(月)

### 3 . 財務の概要

#### ( 1 ) 財務の概要

本法人の財政運営に当たっては、「学校経営の安定を図り、健全な学校運営を行うため、堅牢な財政基盤の構築と徹底した支出の削減」を基本目標に経営の合理化に努めてまいりました。

平成 2 0 年度における消費収支上の主な財務の概要は次のとおりです。

平成 2 0 年度の帰属収入（消費収支計算書参照）は、1 2 5 億 6 0 百万円と対前年度比 1 億 4 4 百万円増加しました。これは、補助金収入が若干減少し、寄付金収入のうち特別寄付金も 1 億 6 百万円減少しましたが、現物寄付金が 1 億 5 1 百万円の増加、資産運用収入の中の雑収入のうち私立大学退職金財団受入金収入が 1 億 1 1 百万円増加したことによるものです。

また、基本金組入額は、常葉中・高校用地やたちばな幼稚園用地の取得、浜松大学新学部・研究科設置による校舎改修工事や備品整備があったものの、未払いによって一部組入額に算入されないため、前年度に比べ 4 3 百万円減少しました。

一方、消費支出は 1 1 4 億 5 5 百万円と対前年度比 1 億 8 8 百万円増加しました。内容としては、人件費が対前年度比で 1 億 7 8 百万円増加するとともに、節約により管理経費が対前年度比 1 8 百万円減少しております。この結果、消費収入から消費支出を控除した当年度消費収入超過額は、2 億 6 1 百万円となっております。

次に貸借対照表の概要ですが、資産の部は、対前年度比 1 2 億 8 3 百万円増加しております。これは、有形固定資産のうち土地が常葉中・高校用地やたちばな幼稚園用地の取得により 2 億 3 7 百万円の増加、流動資産のうち資金運用の関係で短期有価証券が 1 4 億 2 百万円減少しているものの、現金預金が 2 0 億 5 8 百万円増加していることによるものです。

基本金は、当期取崩しが 1 億 7 1 百万あるものの、当期組入れが 8 億 4 4 百万円あるため対前年度比 6 億 7 4 百万円増加しております。

## ( 2 ) 資金収支計算書

(単位:百万円)

科 目 名		平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	8,680	8,671	8,401	8,068	7,780
	手 数 料 収 入	163	158	183	206	207
	寄 附 金 収 入	115	188	48	52	34
	補 助 金 収 入	2,097	2,131	2,104	2,107	2,145
	資 産 運 用 収 入	176	163	189	198	250
	資 産 売 却 収 入	1	1	272	16	10
	事 業 収 入	709	688	649	773	636
	雑 収 入	417	366	502	303	334
	前 受 金 収 入	1,706	1,728	1,928	2,011	1,926
	そ の 他 の 収 入	6,753	4,084	2,714	1,431	1,207
	資金収入調整勘定	△ 2,273	△ 2,362	△ 2,341	△ 2,108	△ 1,872
	前年度繰越支払資金	3,722	5,158	6,599	5,291	5,325
	合 計	22,266	20,974	21,248	18,348	17,982
支出の部	人 件 費 支 出	7,490	7,314	7,311	6,879	6,430
	教育研究経費支出	1,774	1,788	1,650	1,692	1,562
	管 理 経 費 支 出	876	903	970	917	861
	借入金等利息支出	26	24	26	29	33
	借入金等返済支出	87	87	95	95	145
	施 設 関 係 支 出	517	964	895	932	2,970
	設 備 関 係 支 出	337	328	151	272	887
	資 産 運 用 支 出	5,368	5,555	4,857	218	9
	そ の 他 の 支 出	641	632	445	946	531
	資金支出調整勘定	△ 630	△ 343	△ 310	△ 231	△ 737
	次年度繰越支払資金	5,780	3,722	5,158	6,599	5,291
	合 計	22,266	20,974	21,248	18,348	17,982

## (3) 消費収支計算書

(単位:百万円)

科 目 名		平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
消費収入の部	学生生徒等納付金	8,680	8,671	8,401	8,068	7,780
	手数料	163	158	183	206	207
	寄附金	317	239	77	86	62
	補助金	2,097	2,131	2,104	2,107	2,145
	資産運用収入等	1,303	1,217	1,341	1,372	1,256
	帰属収入合計	12,560	12,416	12,106	11,839	11,450
	基本金組入額合計	△ 844	△ 887	△ 1,091	△ 3,417	△ 4,187
	消費収入の部合計	11,716	11,529	11,015	8,422	7,263
消費支出の部	人件費	7,492	7,314	7,370	6,879	6,430
	教育研究経費	2,913	2,909	2,782	2,798	2,578
	管理経費	982	1,000	1,061	1,009	950
	借入金等利息等	68	44	44	59	58
	消費支出の部合計	11,455	11,267	11,257	10,745	10,016

## (4) 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目 名		平成21年3月31日	平成20年3月31日	平成19年3月31日	平成18年3月31日	平成17年3月31日
資 産 の 部	固定資産	43,081	42,535	40,941	41,638	42,378
	土 地	14,937	14,700	14,700	13,910	13,651
	建 物 ・ 構 築 物	18,328	18,778	18,671	19,430	19,566
	機 器 備 品	1,787	1,878	1,959	2,186	2,335
	図 書	2,674	2,602	2,536	2,496	2,424
	その他の固定資産	5,355	4,577	3,075	3,616	4,402
	流動資産	10,216	9,479	9,837	8,234	7,053
	現 金 預 金	5,780	3,722	5,158	6,599	5,291
	その他の流動資産	4,436	5,757	4,679	1,635	1,762
	合 計	53,297	52,014	50,778	49,872	49,431
負 債 ・ 基 本 金 ・ 消 費 収 支 差 額 の 部	固定負債	2,277	2,362	2,128	2,157	2,335
	長 期 借 入 金	913	1,000	766	853	948
	退 職 給 与 引 当 金	1,364	1,362	1,362	1,304	1,387
	流動負債	2,662	2,400	2,546	2,461	2,936
	短 期 借 入 金	87	87	87	95	95
	前 受 金	1,717	1,741	1,940	2,023	1,940
	その他の流動負債	858	572	519	343	901
	基本金	49,758	49,084	48,207	47,226	45,999
	消費収支差額の部合計	△ 1,400	△ 1,832	△ 2,103	△ 1,972	△ 1,839
	合 計	53,297	52,014	50,778	49,872	49,431

( 5 ) 主な財務比率比較

(単位: %)

比率名	算 式	20年度	19年度	18年度	17年度	16年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.8	9.3	7.0	9.2	12.5
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	97.8	97.7	102.2	127.6	137.9
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰 属 収 入}}$	69.1	69.8	69.4	68.1	67.9
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	59.6	58.9	60.9	58.1	56.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$	23.2	23.4	23.0	23.6	22.5
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.8	8.1	8.8	8.5	8.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	383.8	395.0	386.3	334.5	240.2
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	10.2	10.1	10.1	10.2	11.9
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	90.7	90.8	90.8	90.7	89.3
基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.7	97.8	98.2	97.9	96.6

( 6 ) 借入金の状況

借 入 先	借入金額(千円)	借入残高(千円)	利率(%)	返済期限	担保等
日本私立学校振興・共済事業団	558,000	124,000	4.9	平成24年9月	土地、建物
〃	1,000,000	555,500	2.2	平成30年9月	土地、建物
〃	320,000	320,000	2.1	平成39年9月	土地、建物
合 計	1,878,000	999,500			

( 7 ) 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額(円)	摘要
一般寄付金	後援会	16,000,000	通学バス管理委託費
一般寄付金	常葉環境情報専門学校	22,981,518	法人合併処理
現物寄付金	後援会、学導会、同窓会、学友会	26,334,000	いこいの広場整備
現物寄付金	常葉環境情報専門学校	131,185,850	法人合併処理(建物)

( 8 ) 補助金の状況

私立大学等経常費補助金については、4大学総計で7億7,500万円余、静岡県私立学校経常費補助金(専門学校、高校、中学校、小学校、幼稚園が対象)については、11校総計で12億3,300万円余の交付を受けています。